

令和6年度(2024年度)

総合経済学科(仮称)を新設予定  
(設置申請中)

# 経済学部

Economics



## 伝統と革新

大分大学経済学部は、2022年に創立100周年を迎えました。経済学部では、経済学、経営学を中心とした社会科学の様々な分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学修することを通じ、社会や経済の変化に適応し、創造性を発揮できる基礎となる能力を高め、社会の中核を支える人材を養成することを目的とし、2万人を超える卒業生を社会に送り出してきました。

これまで、経済分野、経営分野、地域研究分野の大きく3つの分野で蓄積してきた実績を基に、分野横断的に教育内容をさらに充実させるため、2017年に「社会イノベーション学科」を新設しました。この学科では、企業、行政あるいは組織間で、イノベーションを手がかりとして社会の課題解決に向き合う人材を養成することを目的としています。1年次後期の学科固有の少人数編成の演習科目において、地元の自治体や企業等の学外組織と連携して、学外でのフィールドワークも行います。入学後の早い時期に、教室内だけでは実感することが難しい地域の実状、課題に直面することから出発し、課題解決に向けての手法を経済学部で学んでいきます。2023年3月には3回目の卒業生を送り出すことができました。

経済学部生としての専門知識、思考方法の基で、社会イノベーション学科の成果を活かし、地域課題に取り組むフィールドワークなどの学外での活動や、授業での研究成果を発信する形式により学外組織や他大学との交流を行う授業など教室外、学外に飛び出すタイプの授業は、今後、ますます増加していきます。

地域で、全国で、世界で活躍するために、ここ大分の地で学びませんか。経済学部でみなさんをお待ちしています。

経済学部長

高見 博之

経済学部サイト



<https://www.ec.oita-u.ac.jp>

### 入試の種類

- 学校推薦型選抜
- 総合型選抜
- 一般選抜(前期・後期)
- 特別選抜  
(帰国生徒選抜・社会人選抜・私費外国人留学生選抜)

## ● 経済学部の学科 (所属学科は、2年次のはじめに振り分けます。)

経済学科  
[定員80名]

家計、企業、政府など経済主体の行動が生み出す経済現象、およびそれら相互の関係を分析します。

経営システム学科  
[定員75名]

企業の経営組織、管理技術、財務分析、人事労務管理、会計などの科目を学習し、広く経営活動を理解します。

地域システム学科  
[定員75名]

地域経済、法律、行政、福祉など住民の生活領域を総合的・学際的に学びます。また、異文化間コミュニケーションと国際相互理解を深める実践的な学習を行います。

社会  
イノベーション学科  
[定員40名]

企業経営上の革新や、行政やNPO等による地域社会の課題解決について、地域における現場体験を組み込んだ実践的な教育を通じ、基礎から応用・実践まで段階的に学びます。

## ● 経済学部の教育

### 一人ひとりの個性を伸ばす 少人数教育

経済学部では、セミナー・演習による少人数教育に力を入れています。1年次から4年次まで、どの学期にもセミナー・演習があるのは本学部の特徴です。

セミナー・演習は、教員と学生、学生同士の集団的なやり取りの中で、学生自らが主体的に参加する実践的な授業科目です。基礎的な知識・理論・知的技法を習得するとともに、学生自身が自らの問題意識や課題を発見して学習すること、また報告や討論する力を伸ばすことが重視されます。

### 国際社会で通用する人材を目指して

#### IBP インターナショナル・ビジネス・プログラム

協定校への半年から1年間の留学による単位取得を柱として、国際社会で活躍できる人材の育成を目指すプログラムです。<sup>(※)</sup>

■留学前/留学希望の学生は、1年次より演習などの教育上の支援制度に基づき、留学への準備を進めます。

■留学中/留学中も所属する演習の担当教員からWeb等で指導を受けます。交流協定校で履修した単位は、卒業要件上の単位として認定されます。

■帰国後/留学成果を卒業論文などに反映させるよう取り組みます。卒業とともに、本プログラムの修了を証します。

※本プログラムでの留学に関しては、JASSO日本学生支援機構の特別奨学金および下記の経済学部「久保奨学基金」など、いずれも返済義務のない給付奨学金制度を整備しています。

### 学生力を磨けば、伝統がバックアップ!

#### 経済学部 就職支援室

経済学部就職支援室は、就職委員の教員と職員スタッフから構成され、就職ガイダンスや学内会社個別説明会の開催、エントリーシートの個別指導、企業訪問による求人開拓、ゼミ訪問等の活動を通じて、学生の就職活動をサポートしています。就職環境に関わらず、100年の伝統に支えられた信用により多くの求人が寄せられ、地元大分はもちろん、九州各県から京阪神や東京で数多くの先輩が活躍しています。

大分大学経済学部久保奨学基金 大分大学経済学部では、成績優秀者や海外留学生に奨学金を支給(返済は不要)しています。

成績優秀な在学生(2~4年生)に対する奨学金

選抜方法:提出書類(当該年度の学習・生活計画)、成績点、面接によって選抜

●人数:入学年度ごとに各3名(計9名) ●給付額:1人年額60万円  
●期間:1年間 ●給付回数:奨学金の受給は在学中2回まで

IBP学生の留学期間中の奨学金

対象:本学部留学生でインターナショナル・ビジネス・プログラム(IBP)に登録し、派遣留学生として海外留学する者のうち、留学期間に関して学内外の他の奨学金を受けていない者

●人数:10~20名程度  
●留学期間1セメスター:24万円 ●留学期間2セメスター:48万円

(支給額は前年度の実績です)

# 経済学科

グローバル化された社会で活躍する人材を養成します。

## ● カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	●全学共通科目 ●外国語科目 ●導入教育科目			
専門基礎科目	専門基礎科目 ●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学 ●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門 ●イノベーション・マネジメント入門		Pick up <b>世界経済論</b> 世界経済を理解する上での基礎理論を学び、世界経済の構造や現状の理解を深め、幅広い観点から「世界経済を見る眼」を養います。	Pick up <b>政治経済学</b> 現在の経済の仕組みである資本主義がどのように成立し、どのような特徴をもっているのかを歴史的・理論的に明らかにしていきます。
専門教育科目	Pick up <b>金融論</b> 貨幣・金融の概念、金融制度、金融行政・政策を学ぶとともに、80年代以降の金融市場の変化と実体経済における金融の役割を検討します。	専門教育科目 ●開発経済論 ●西洋経済史 ●世界経済論 ●中級ミクロ経済学 ●中級マクロ経済学 ●政治経済学 ●金融論 ●グローバル化と政治経済 ●経済政策論 ●日本の社会保障 ●証券論 ●計量経済学など	●中級セミナー	●卒業論文
			●演習 ●インターンシップ	
			●学部共通科目	

教育学部

経済学部

医学部

理工学部

福祉健康科学部

## Pick Up Laboratory 研究室紹介

### 柴田茂紀ゼミ



#### 研究テーマ 世界経済論

「グローバル人材」に必要なのは語学力だけではありません。国籍や民族・文化など、自分と異なる他者を意識する幅広い視野や、多様な価値観をもつ人々と協調しながら物事を進める行動力が求められます。グローバル化が進むなかで、世界各国・各地の共通点・類似性が増したとしても、各国間の相違点・異質性そして格差は存在し続けます。そうした世界のリアルについて、経済的側面から学んでいきます。

国際交流や世界の多様性に関心のある学生が集まるため、教室は活発な雰囲気です。留学生と議論する機会も定期的にあります。海外の提携校に留学して自分の可能性を高め、企業の現地駐在・派遣要員として国外で働く卒業生や、公務員・観光業など、訪日外国人対応業務に従事している卒業生もいます。

**柴田 茂紀 准教授** Associate Professor. Shibata Shigeki

担当科目 世界経済論、国際貿易論

### 石井まことゼミ



#### 研究テーマ 地方圏の資源を「つなぐ」ことで生まれる豊かな労働と生活

5年前に『地方に生きる若者たち』(旬報社)という本を出しました。地方では、親よりも高い労働条件で働ける機会が少なくなっており、少子化も加速化することが分かりました。しかし、そこに展望がない訳ではありません。地域にある歴史や自然、人という資源を「つなぐ」ことで、新しい労働と生活の関係が成長しています。

私のゼミでは福島・宮城の被災地・復興住宅に学生と出かけ、健康増進と交流促進に効果があるノルディック・ウォーク教室を行っています。東北と大分がつながり、学生たちはその地域間交流で地域貢献を体感し、地域も元気になりました。

経済学部での「学び」は、これから地域を活性化させるには何が必要かを理解し、行動できるコンピテンシー(行動特性)をつけることにあります。あなたの可能性を是非ここで花開かせてください。

**石井 まこと 教授** Professor. Ishii Makoto

担当科目 社会政策、労使関係論、地域における仕事と経済、セミナー「働くということと労働組合」

# 経営システム学科

経営について適切な分析と解決策を提案できる人材を養成します。

## ● カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	● 全学共通科目 ● 外国語科目 ● 導入教育科目			
専門基礎科目	● 経済学入門 ● 初級ミクロ経済学 ● 初級政治経済学 ● 経営学入門 ● 会計学入門 ● 法学入門 ● 地域学入門 ● イノベーション・マネジメント入門		<b>Pick up</b> <b>経営組織論</b> 企業組織についてその本質や機能に対する理解を深め、長期的な発展や成長を目指す組織のあり方を、実例をふまえて学びます。	<b>Pick up</b> <b>交通論</b> ヒト・モノの移動に関する、地域・社会の諸問題や、これらの問題に関係する主体・組織・経営行動・政策のありかたを、社会科学や社会学の手法を用いて考えます。
専門教育科目	<b>Pick up</b> <b>原価計算論</b> 本講義では、企業内の様々なコストを計算する方法を学習します。どのコストが高いか低いかを示すことで、経営者や従業員に仕事の仕方自体を変えていくよう仕向けることができます。	● 経営組織論 ● 経営情報論 ● 経営学 ● 企業論 ● 交通論 ● マーケティング論 ● 原価計算論 ● 経営戦略論 ● 人事システム論 ● 企業ファイナンス論 ● 会計学など	● 中級セミナー ● 演習 ● インターンシップ	● 卒業論文
		● 学部共通科目		

## Pick Up Laboratory 研究室紹介

### 加藤典生ゼミ



#### 研究テーマ 簿記・会計から企業の経営実態を知り、改善を図る

簿記・会計は、「利益を生み出す力」を学ぶ学問分野です。利益は、収益(売上高)と費用との差額を計算することで認識することができ、この唯一の計算技術の手法が、簿記・会計です。簿記・会計では、収益(売上高)と費用を複眼的に捉えることで、企業が継続して経営できるかを検討していきます。経営システム学科には、日商簿記3~2級レベルの学習をする科目があり、さらに学びを深めるために、株主や銀行といった企業外部の人に役立つ会計を扱う財務会計・監査論の専門家や、経営者や従業員といった企業内部の人を支援する原価計算の専門家が所属しています。学生の皆さんは、こうした簿記技術を身に付けて、企業外部の視点から財務諸表を分析して企業の今後を検討したり、企業内部の視点から、なぜお金が無駄に使われてしまうのか、なぜ必要なお金がお金がしっかりと使われていないのかなどの原因を、人間心理との関係から検討を行ったりもしています。

加藤 典生 教授 Professor. Kato Norio

担当科目 原価計算論Ⅰ・Ⅱ ほか

### 本谷るりゼミ



#### 研究テーマ 企業組織の継続力、老舗企業の長期存続の研究、組織の協働

私たちの周りには多くの組織が活動しています。それらによって私達の生活が成り立っており、実は非常に身近なものでもあります。みなさんの多くは、企業組織に勤務/経営している・あるいは将来そうした活動をするようになるでしょう。このように私たちの生活に影響を与えるものであるにもかかわらず、組織とは捉えることが難しいもの・得体の知れないもの・制御できないものといった印象を与えることもあります。そもそも、組織とはどのようなものでしょうか。いかなる機能を持ち、社会の中で役割を果たしているのでしょうか。この研究室では、そうした素朴な疑問から出発し、望ましい企業活動のための組織づくりや所属する人々と組織の関係、組織を継続させる要因の探求といった研究課題に取り組んでいます。

本谷 るり 教授 Professor. Motoya Ruri

担当科目 経営組織論、組織革新論、会社組織のしくみ

# 地域システム学科

地域社会の再生・活性化のためにローカルな実践ができる人材を養成します。

## ● カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	●全学共通科目 ●外国語科目 ●導入教育科目			
専門基礎科目	●経済学入門 ●初級ミクロ経済学 ●初級政治経済学 ●経営学入門 ●会計学入門 ●法学入門 ●地域学入門 ●イノベーション・マネジメント入門		<b>Pick up</b> <b>情報社会論</b> 現代社会におけるメディア環境の変化をふまえ、情報と人、社会との関わり、コミュニケーションのあり方について社会学の立場から学びます。	<b>Pick up</b> <b>都市経営論</b> 保育などの地方公共サービスにおける質と効率の両立、ごみ減量対策、インフラ老朽化やコンパクトシティなど幅広く自治体行政改革の課題を考えます。
専門教育科目	<b>Pick up</b> <b>地方行政論</b> 現代の地方行政活動の法的諸問題を体系的に解明し、地方行政への関心を深めます。さらに、リーガルマインドの涵養を目指しています。	●現代英語論 ●情報社会論 ●現代ヨーロッパ社会論 ●異文化理解ワークショップ ●地域構造論 ●地方行政論 ●都市経営論 ●農村発展論 ●地域福祉論 ●民法 ●経済法 ●労働関係法 など	●中級セミナー ●演習 ●インターンシップ	●卒業論文
		●学部共通科目		

教育学部

経済学部

医学部

理工学部

福祉健康科学部

## Pick Up Laboratory 研究室紹介

### 青野 篤ゼミ



#### 研究テーマ

思想・言論の自由や刑事手続上の権利などの憲法上の人権保障について、その意義や限界をアメリカ憲法との比較を通して研究しています。

憲法は人権が適切に保障される国・地域づくりを政府・自治体に求めています。当ゼミでは、人権問題はもちろん、民主的な政治制度や公正な司法制度のあり方などを研究しており、大分市議会のモニター活動や大分地方裁判所での模擬裁判員裁判にも参加しています。課題やニーズが多様化・複雑化する現代社会において、人々の利害を適切に調整し、誰もが安心して暮らせる社会を創っていくためには、法的な知識や思考力が重要です。特に性的少数者や女性、子ども、非正規労働者など社会的に弱い立場に置かれている人々の人権保障は、喫緊の課題です。地域システム学科には、憲法だけでなく、民法や労働法、商法などの専門家が在籍しており、社会における多様な利害関係を法的視点から捉える能力を養うことができます。

青野 篤 教授 Professor.Aono Atsushi

担当科目 憲法 ほか

### 大呂興平ゼミ



#### 研究テーマ

日本や諸外国における農業や食料貿易の変動、特に近年では海外のwagyu産業の動向を研究しています。

大分駅周辺の再開発、湯布院に殺到する観光客、郊外に広がる耕作放棄地…。地域で目にするこうした出来事は、なぜ、どのように起き、何が問題となっているのでしょうか。問題に対して現地の人々や行政、自分自身には何ができるのでしょうか。大呂ゼミでは、地域の産業や社会をめぐる諸問題について、フィールドワークを通じてその背景やメカニズムを読み取り、将来の展望や問題解決の糸口について考える活動をしています。人口減少が深刻化する中、地域の産業や社会の存続を現場から模索することが、かつてなく重要となっています。地域システム学科には、こうした地域の諸問題に深い関心と専門的知識をもつ教員が多数所属しており、問題を多角的に解明し実践につなげる能力を磨くことができます。

大呂 興平 教授 Professor. Oro Kohei

担当科目 経済地理学、食と農の地理学 ほか

# 社会イノベーション学科

サービス開発・まちづくりの知見を備え地域活性化に貢献できる人材を養成します。

## ● カリキュラム ※下記のカリキュラム科目は一部を抜粋しています。

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全学共通科目</li> <li>● 外国語科目</li> <li>● 導入教育科目</li> </ul>			<p>Pick up</p> <p><b>イノベーションの経済学</b></p> <p>どのような経済の仕組みがイノベーションを引き起こし、また逆にイノベーションがどのように経済の仕組みに影響を及ぼすのかを学習します。あわせてイノベーションについて経済学者がどのように考えてきたのかを学習します。</p>
専門基礎科目	<p>専門基礎科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 経済学入門 ● 初級ミクロ経済学 ● 初級政治経済学</li> <li>● 経営学入門 ● 会計学入門 ● 法学入門 ● 地域学入門</li> <li>● イノベーション・マネジメント入門</li> </ul>		<p>Pick up</p> <p><b>市場開発論</b></p> <p>市場開発に関する理論と実践を学習し、市場開発の基本的理解を踏まえ、新たな市場を創造する際の課題を分析する基礎的能力を習得します。</p>	
専門教育科目	<p>Pick up</p> <p><b>イノベーション社会論</b></p> <p>ICTの革新に伴うコミュニケーションの変容や社会変動等の様々な社会現象に関連づけながら、社会学の観点からイノベーションの社会的・文化的な諸条件やプロセスを明らかにし、今後の政策的・実践的方策や社会システムのあり方を考えます。</p>	<p>専門教育科目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品開発論 ● 市場開発論 ● 研究開発マネジメント論 ● ベンチャー起業論 ● 社会調査法</li> <li>● イノベーション社会論 ● 現代社会分析論 ● イノベーションの経済学 ● イノベーション学説史</li> <li>● 進化経済学 ● 制度の経済学 ● R&amp;Dの経済学 ● ゲーム理論 ● 都市イノベーション論 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中級セミナー</li> <li>● 演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サービス現場のフィールドワーク</li> <li>● インターンシップ</li> <li>● 卒業論文</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学部共通科目</li> </ul>			

## Pick Up Laboratory 研究室紹介

### 仲本 大輔ゼミ



#### 研究テーマ 現代社会における地域課題や社会課題の解決につながるイノベーションの創出

現代社会に存在する様々な地域課題や社会課題の解決に向けて、企業などが様々な新製品や新サービスを開発していますが、そのプロセスにおける経営戦略のあり方に関心を持っています。社会イノベーション学科の教育の特徴は、数人ずつのグループを複数作り、何らかの地域課題か社会課題に対する解決策をフィールドワークもふまえて、グループワークで考案する授業が1年次から存在することです。これらの授業を社会イノベーション学科の教員全員が合同で担当しているのも大きな特色です。社会に関心を持ち、社会に存在する様々な課題を発見し、その解決策を考案して実践する人材(企業等で新製品や新サービスの開発に従事する人、行政において解決策を考案して実行する人)を養成しています。

**仲本 大輔 准教授** Associate Professor. Nakamoto Daisuke  
 担当科目 経営戦略論、製品開発論、経営学の基礎、経営戦略論特研I・II ほか

### 豊島 慎一郎ゼミ



#### 研究テーマ 社会参加と現代社会

世の中には、私たち一人ひとりが何とかしたいと思っても、なかなか解決できない問題があります。例えば、地域コミュニティの衰退、災害支援・復興、貧困・格差などが挙げられます。こうした問題に対して、私たちが、人と人のつながりのなかでそれぞれの生き方や生活をお互いに大切にしながら協力し合って豊かで幸せな社会をつくるには、どのような社会の仕組みや取組みが必要なのかを考える学問が、私の専門である社会学です。これまで、大規模な社会調査のデータを用いて、人びとがNPOやボランティア、地域活動などの社会的活動に参加する社会経済的な要因を探る研究を続けてきました。また、東日本大震災や熊本地震における被災者の生活や災害ボランティアの活動状況に関する調査研究にも取り組んでいます。

**豊島 慎一郎 教授** Professor. Toyoshima Shinichiro  
 担当科目 イノベーション社会論、現代社会分析論、情報社会論、ソーシャルイノベーション創出実践ワークショップ(学科教員全員担当) ほか

## 沢山のことに挑戦しながら、 将来を模索中

将来やりたい仕事が決まっていなかったため、汎用性があり、たくさんの仕事に応用できる経済学部に進学しようと考えました。大分大学を選んだのは、県外で学費等を抑えることのできる大学だったからです。

現在、まだ「これを専門的に学ぼう」と思える分野は見つかっていませんが、会計学や簿記の分野に興味が出てきており、ぼんやりと方向性が見えてきたような気がします。授業でも、自ら企画したイベントを開催したり、WordやExcelの知識を学んだりする中で、少しずつ、成長を感じています。

大学生はとにかく時間があるので、何かを始めたり、努力をしたりするのに打って付けです。私も登山やアルバイト等、色々なことに挑戦しています。サークルや部活などの団体に入るのもお勧めです。先輩たちが企画したイベントに参加したり、その団体の幹事等になって自分が考えた企画を実施したり、より多くの経験ができます。また、経済学部は1年次に学科選択がないので、先生や先輩たちと相談しながら進路についてじっくり考える時間もあります。

授業以外では、「大学生のうちにお金をためて、バイクを買う」という目標を立て、節約を頑張っています。生活費等、無理のない範囲で節約できるよう、試行錯誤する毎日です。一人暮らしを始めて自分がどれだけ自堕落な性格であるのか身に染みて理解できましたが、支出管理の習慣や生活力が身についたのは良かったと思います。

大学受験を控えたみなさんはたくさんの道を選択する時期だと思います。熟考して、選んだ道を精一杯進んでみてください。1つ失敗しても、人生が終わることはありません!諦めずに頑張らしましょう!!

福本 真央さん 経済学部 1年(愛媛県立丹原高等学校出身)



インタビュー  
動画をご覧  
いただけます



## 社会を俯瞰するために 経済学を深く学んでいます

経済学部を選んだ理由は、グローバル化と情報の自由化が進む中、もっと広い視野で社会を俯瞰し、理解を深めたいと思ったからです。そう考えたとき、一番俯瞰するに適切な基準はお金、すなわち通貨だと思い、経済や金融を学ぶことを志しました。また、経済学を中心にしながらも、経営学や社会学、法学などを教養レベルではなく専門レベルで併せて学ぶことができる点にも魅力を感じました。

現在は、国際貿易に関する学習を行っています。3年次には「サプライチェーンと人権」のテーマで研究を進めていました。具体的には、ある企業が製品を作る際に自社の製品の製作過程で児童労働や強制労働が行われていないかを監視し、自社だけでなくサプライチェーン全体の人権を擁護する仕組みについて、です。この研究をゼミ生とチームを組んで行い、経済学部内でおこなわれる懸賞論文にも応募しました。

講義以外では、来年度の夏季休暇に大分大学とイギリスのアペリストウィス大学の提携プログラムで5週間ほどの渡英を考えています。コロナ禍前にもニューヨークへ渡米しており、大学生活を通して言語習得にも積極的に取り組んでいます。また、ここ2年間、コロナ禍で飲食店などのアルバイトが減少し、日常生活を送ることに支障をきたす学生が出てきました。そこでフードバンクシステムの利用や地元の中小企業の支援を受けながら学生に食糧や日用品を配布する活動を行ってきました。

卒業後の具体的な進路は決めていませんが、まずは企業に就職しようと考えています。学問としてではなく実務として社会に触れ、座学では知ることが出来なかったことを知っていきたいです。その後は折を見て大学院への進学や起業などを視野に入れていきます。

野村 一聡さん 経済学部 経済学科 4年(福岡県立嘉穂高等学校出身)

# 卒業生 Message

経済学部 経営システム学科卒業

公益財団法人  
大分県芸術文化スポーツ振興財団  
総務・企画課 勤務



## 学生時代の経験が“今”に活かされています

グランシアタでの公演や美術館の企画展など幅広い事業を行う大分県芸術文化スポーツ振興財団の総務課に所属し、主に財団に関わる支払いや収入の伝票作成、銀行とのやり取り、支払いまでの一連の業務を行っています。iichiko総合文化センターや大分県立美術館は大分県民の皆様にとって身近な施設であり、生活や心に潤いを与えられる場です。私は、直接お客様と関わる機会はありませんが、そこでの活動を支えられていることを誇らしく思っています。

現在の仕事は、学生時代の学びがベースになっています。一つは簿記や会計の知識を実践的な部分で生かしているところです。テキスト上で勉強した簿記と、現在行っている業務の中の簿記では違う部分も多いですが、知識や会計の流れは非常に役立っています。

また、子ども食堂での学習指導員(アルバイト)の経験も大きな糧となっています。子ども食堂での活動は、学習指導員である学生が主体となって行っていたため、どうすれば子どもたちが安心して過ごせるかを常に考えていました。そのために毎日ミーティングを行い、話し合いや情報交換がしやすい環境づくりに取り組み、学生同士はもちろん、本部の方々やゼミに関わる大学の教授とのコミュニケーションも大切にしていました。その考え方、流れは今も変わりません。多くの部署や企業と関わる中で、どうすれば円滑に業務が進められるかを常に考えながら仕事に取り組んでいます。円滑に業務を進めるために、同じ部署だけでなく他部署の方とも積極的にコミュニケーションをとり、信頼し合える関係を築けるよう心掛けています。

経済学部は、1年次、所属学科が決まっていないので、経済学の幅広い分野を学ぶことができ、そこで興味を持った分野や将来の夢につながる学科を選択できるのがよいところだと思います。ゼミの活動も楽しく魅力的です。大学生活では多くの出会いがあり、それが広がっていくのが楽しいです。皆さんも様々なことに挑戦し、充実した時間を過ごしてください。

山崎 芽唯さん (大分県立大分商業高等学校出身)

## 大学時代の学び、出会いで人生が豊かに

豊後高田市役所の商工観光課観光係で、主にイベント・地域行事の運営支援や観光宣伝、情報発信を担当しています。

イベント・地域行事の業務を行う際は、安心・安全に実施すること、成功することに加え、来場者が満足してくれることを意識しています。その目的を果たすためには、イベント主催団体や関係者との会議、調整を繰り返し、様々な準備を行う必要があります。苦勞することもありますが、当日、事故等なく全ての工程を終え、来場者の満足した顔や、主催団体・関係者の安堵した顔を見たとき、「またイベントに行きたい」「来年も頑張って実施しよう」という声を聞いたとき、地域のために頑張ってよかったと思うと共に、大きなやりがいを感じます。

大学生活では、同世代と接するだけでなく、ゼミ活動やバイトを通して、年上の方と交流する機会が多く、それが今の仕事に活かされています。私の業務は地域の方々と協力しながら、地元豊後高田市のイベントを実施するため、会話が非常に重要です。「相手は何を伝えようとしているのか」「こちらから話すときにどう伝えれば理解をいただけるのか」などを考えて行動できるようになったのは、間違いなく大学時代の経験があったからだと思います。

大学時代の出会いは人生における財産です。ゼミ活動の地域課題解決の研究でお世話になった地域の方々、ゼミの友人、ゼミの教授、その他の授業でお世話になった教授、サークル仲間…。大学で出会った多くの方々のおかげで、私一人では絶対に経験できないことを経験し、充実した大学生活を送ることができました。また、その方々とは卒業後もつながりがあり、同じ業種で働いている友人と仕事について話し合ったり、旅行に行ったり、スポーツをしたりと、“今”の人生も豊かにしてくれています。

大分大学では、大分大学でしか学ぶことができないこと、恵まれた環境、多くの出会い、これまでにない経験が待っています。一生の思い出となる学生生活を送れることを願っています。

青山 恵祥さん (大分県立高田高等学校出身)

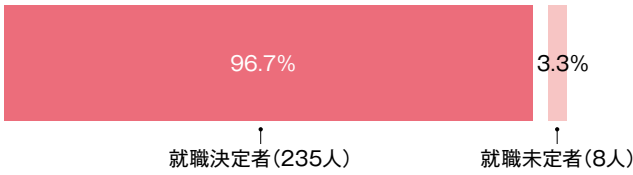
経済学部 地域システム学科卒業

豊後高田市役所  
商工観光課 観光係 勤務

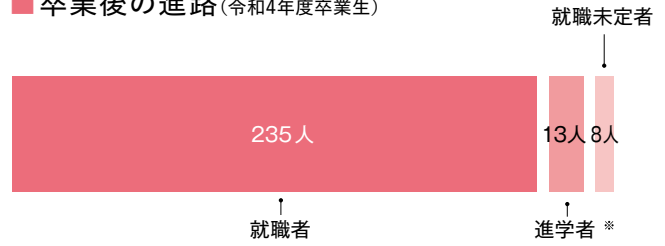


# 就職実績

## ■ 就職率 (令和4年度卒業生) ※就職希望者に占める就職者の割合

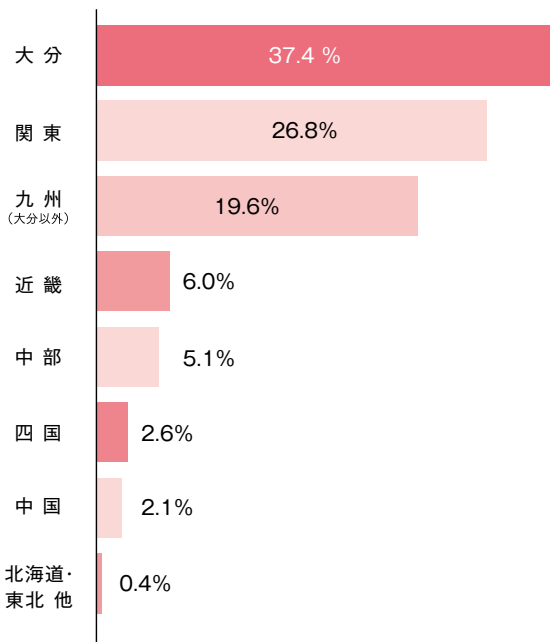


## ■ 卒業後の進路 (令和4年度卒業生)

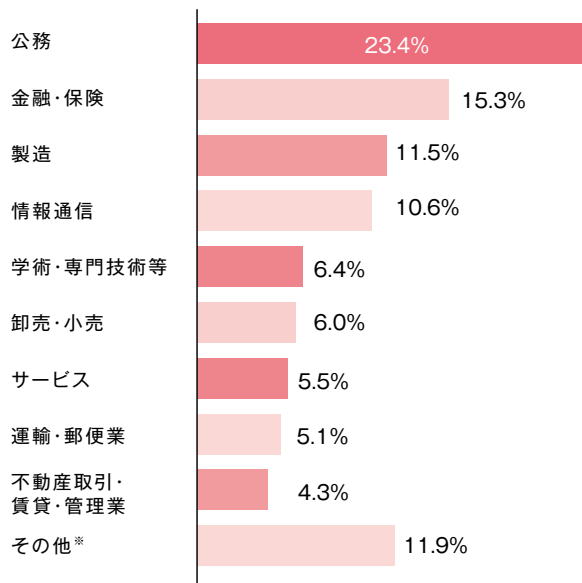


※「進学者」は、大学院・研究科、大学学部、短期大学本科、専攻科、別科に進学した者の数です。

## ■ 地区別就職情報 (総数235人対象)



## ■ 産業別就職情報 (総数235人対象)



※その他の内訳「建設業」「医療、保健衛生・保険福祉介護業」「複合サービス」「学校教育」「生活関連サービス・娯楽業」

## ■ 主な就職先 (令和2年度～令和4年度卒業生・修了生)

### 経済学科

共同エンジニアリング(株)、YKK-AP(株)、古河電気工業(株)、東芝デジタルエンジニアリング(株)、スズキ(株)、(株)オーイーシー、トランス・コスモス(株)、(株)テレビ新広島、日鉄物流(株)、NX商事(株)、日通商事(株)、(株)セブンイレブン・ジャパン、ファーストリテイリング、(株)大分銀行、(株)豊和銀行、大分県信用組合、(株)十八親和銀行、九州労働金庫、楽天銀行(株)、JA共済連宮崎、日本生命保険(相)、日本郵便(株)、大分県厚生連 鶴見病院、(株)別大興産、(株)豊後企画集団、(株)タナベ経営、アース環境サービス(株)、国土交通省九州地方整備局、九州運輸局、大分労働局、大分県庁、大分市役所 他

### 経営システム学科

梅林建設(株)、(株)佐藤渡辺、霧島ホールディングス(株)、凸版印刷(株)、三菱電機(株)、九州電力(株)、応研(株)、西日本電信電話(株)、(株)日立産業制御ソリューションズ、(株)辰巳商会、(株)内田洋行、神鋼商事(株)、(株)アステム、イオン九州(株)、(株)大分銀行、(株)オーシー、(株)三井住友銀行、独立行政法人住宅金融支援機構 日本銀行、(株)日本政策金融公庫、丸三証券(株)、(株)西日本シティ銀行、(株)福岡銀行、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、明治安田生命保険(相)、(株)ベツタイ、イデア総研コンサルティング、(株)城島高原オペレーションズ、日本郵便(株)、大分県警察、宮崎県庁、雲仙市役所 他

### 地域システム学科

(株)佐伯建設、積水ハウス(株)、(株)三井三池製作所、ダイハツ九州(株)、千代田興産(株)、(株)NTTデータ・ビーンサービス、モバイルクリエイト(株)、(株)地域科学研究所、(株)東北新社、鶴崎海陸運輸(株)、(株)関西丸和ロジスティクス、(株)古城(株)日本アクセス、(株)トキハ、(株)大分銀行、大分県信用組合、大分みらい信用金庫、(株)豊和銀行、三井住友ファイナンスアンドリース(株)、(株)西日本シティ銀行、USEN-NEXT GROUP、大分県農業協同組合、JA全農おおいた、大分地方裁判所、大分法務局、大分労働局、九州農政局、労働基準監督官、福岡法務局、大分県庁、大分県警察、警視庁、熊本県庁、大分市役所、大分市消防局 他

### 社会イノベーション学科

三和酒類(株)、日本たばこ産業(株)、(株)スノーピーク、アイリスオーヤマ(株)、(株)再春館製薬、(株)キーエンス、(株)極洋、アド印刷(株)、(株)地域科学研究所、(株)RKK コンピューターサービス、JCOM(株)、(株)ジャパンエフエムネットワーク、(株)西日本新聞社、(株)大分バス、第一交通産業(株)、福岡運輸(株)、アイティーエックス(株)、ジュテックホールディングス(株)、大同興行(株)、国分九州(株)、(株)ネクステージ、(株)ヒマラヤ、リコージャパン(株)、JR九州リテール、(株)トライアルカンパニー、(株)博報堂プロダクツ、大分県信用組合、(株)豊和銀行、(株)日本政策金融公庫、福岡ソフトバンクホークス(株)、日本年金機構、大分労働局、大分県庁 他